

各 位

2020年2月19日  
株式会社天夢人

駅の第一人者、杉崎行恭さんが選りすぐった  
懐かしく美しい、木造駅舎を集めた  
「木造駅舎紀行 200 選」を刊行しました。

インプレスグループで鉄道・旅・歴史メディア事業を展開する株式会社天夢人（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝峰富雄）は、2020年2月19日に、「旅鉄 BOOKS025 木造駅舎紀行 200 選」を刊行しました。



日本の鉄道の多くが、明治・大正・昭和初期に開業しています。その当時に建てられたままの駅をはじめとして、令和の現在にあって今なお木造の駅を取り上げた1冊です。折しも「東京オリンピック・パラリンピック競技大会 2020」を機に、山手線唯一の木造駅舎である原宿が大会後に解体されるというニュースが話題になりました。趣はあるけれども維持も難しいため、その存在はととも貴重なものになりつつあります。そこで、列車からぜひ降りて、懐かしさを感じる駅舎のその空間に身を置いて、歴史を、木造の美しさを肌で感じて欲しい！ そんな、今のうちにぜひ旅に出かけて降りて欲しい木造駅舎を、200駅選りすぐって紹介した1冊です。



**巻頭特集は原宿駅、国立駅、高尾駅と、東京の3つの木造駅舎**

解体が決まった、山手線でも数少ない木造駅舎である原宿駅を特集。1924（大正13）年に建てられて以来、その姿を変えずに若者の街、原宿の玄関口としてその姿をとどめてきた、美しき駅舎を切り取っています。



**より美しく見られるポイントはクローズアップした写真で構成**

「最近駅舎を楽しむ女性も増えている。スマホ時代らしい駅の見方もある。そこで木造駅舎は全景だけではなく、その駅らしい美しいポイントをクローズアップして見てもらいたい」そんな著者の思いから、駅舎紹介は、全景だけではなく、様々なアングル角度から撮影した写真で構成しています。



### コラムで地域の特徴もよく分かる

コラムでは各エリアごとの木造駅舎について、歴史背景、特徴、傾向などをわかりやすくまとめています。

### 目次

- 1924～2020 原宿駅、木造駅舎の96年
- 北海道・東北40選
- 関東・甲信越44選
- 東海24選
- 北陸・近畿 36 選
- 中国28選
- 四国・九州25選
- 地域の木造駅舎ものがたり

### 著者紹介

杉崎行恭 すぎざき・ゆきやす

フォトライター。1954年、兵庫県生まれ。旅行雑誌や鉄道雑誌を中心に執筆。特に駅と駅舎をライフワークとする。著書に『訪ねておきたい名駅舎 絶滅危惧駅舎』（二見文庫）、『廃線駅舎を歩く』（交通新聞社）などがある。

**【書誌情報】**

書名：旅鉄 BOOKS025 木造駅舎紀行 200 選  
仕様：A5 判 160 頁  
定価：1800 円+税  
発売日：2020 年 2 月 19 日

全国書店、オンライン書店の Amazon などで発売中。  
<https://amzn.to/2TtuEVX>

**【株式会社天夢人】** <http://temjin-g.com/>

2007 年設立。隔月刊雑誌『旅と鉄道（奇数月 21 日発売）』（発売：山と溪谷社）をはじめとする、鉄道・旅・自然・歴史・民俗・カルチャーをテーマとした雑誌や書籍を発行し、人生を豊かにするための情報を発信しています。

**【インプレスグループ】** <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：唐島夏生、証券コード：東証 1 部 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「旅・鉄道」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

---

**【本件に関するお問合せ先】**

株式会社天夢人 担当：真柄  
Tel: 03-6413-8755 / E-mail: [info@temjin-g.co.jp](mailto:info@temjin-g.co.jp)  
URL : <http://temjin-g.com/>